

## 第2回 経営健全化計画進行管理委員会

## 【議事概要】

日時：平成22年11月25日（木）15:00～17:00

場所：三田市民病院 3階講堂

委員：佐野委員長、辻副委員長、木西委員、松田委員、村上委員、吉田委員

外部専門委員：坂東委員、松本委員、長山委員

事務局：喜多、岡村

その他出席者：高村、太田

### 1. 開会挨拶

本日は、経営健全化計画を委員の方々に検証・評価していただき、病院運営をより良い方向に進めていきたいとおもいます。

### 2. 報告事項

・平成21年度 決算状況について（事務局説明—資料1）

・平成21年度 経営健全化実施計画の指標確認について（事務局説明—資料2）

### 3. 協議事項

（1）平成21年度 経営健全化計画の進捗状況について 〈検証・評価〉

- ・1年間の取り組みの成果としては全般的に頑張っているのではないかと。
- ・人件費の占有率が高い。人件費に見合った収益が上がっていないのではないかと。
- ・入院単価のあたり方が少ないのではないかと。
- ・減価償却の10%台を今更協議して当初起債の200億円をどうすることもできないので、減価償却抜きで目標を設定する等の工夫も検討されてはどうか。
- ・材料等の購入時の努力がさらに必要ではないかと。当病院は循環器系が強いので、材料費率が高いのは明らかであるが、購入費を抑える努力が必要である。⇒努力はしており、かなり落としているが、更に努力する。
- ・全体的な単価を上げるには、新たな施設基準を取るしかないのでは。
- ・疾患により判断する必要はあるが、在院日数が短くなってきているので、疾病によって適正に在院日数等を伸ばすことなどで、収益にどのような影響が出るのか検討しても良いのでは。
- ・病棟稼働率が80%未満であるので、まだまだ在院日数については検討の余地ある。
- ・看護師確保について、離職率は変わりましたか？ ⇒12%ほどで、全国平均よりは低い。
- ・これ以上稼働率を上げると、看護師がきつくなるので、離職につながる懸念もある。
- ・看護師の数が多くはなったが、産休、育休を含めると実労働数は少ない。
- ・職員満足度の調査は、行いましたか？ ⇒医師とコメディカルは全国平均よりも高かった。ただ、事務と看護はかなり満足度が低かった。
- ・限られた資源の中で、職員満足度を高める方法を検討する必要がある。
- ・病棟で二交代を導入したいが、現在調整中である。新しく入る人たちからは、二交代にならないのかとの問い合わせが多い。
- ・夜勤専従看護師を病棟で採用しては？ ⇒今は、外来救急当直だけで採用しています。
- ・委託費の比率が高いのでは？ ⇒正規事務員が少なく、医事業務を委託している。また、清掃、警備等も委託しており、比率的には高い。
- ・委託では帰属意識が無く、出来る事なら、医事部門は委託以外で対応したほうがよい。
- ・少しずつ、重要な部分は、委託から直営に戻していく必要があると提言する。

## (2) 平成 22 年度 経営指標等について (事務局説明—資料 3、4) <提言等>

- ・今年、数%は収入が増えないといけませんが、現時点では入院単価で2%ほどしか伸びていないようだ。まだまだ、伸ばせる幅があるのではないかと。
- ・収益の計画想定基準は、何を元に設定したのか。
- ・公立病院改革ガイドラインは、3ヵ年で黒字化を目標としているが、当院は5ヵ年で黒字を目標とし、入院単価は52,000円と固定して、稼働率を中心に計算し、H25年度の黒字に向けて設定した。
- ・稼働率を上げるのであれば、具体的に、入院の受け入れと送り出しをもっと調整する必要がある。地域性を考えると、他の地域と連携が取りにくい。市民病院が、三田市において大切な施設であるという認識が少ないのではないかと。もっと市民に三田市民病院の使い方(役割)などをアピールすることを推奨する。脳外科はリハビリ施設が必要なため、ベッドが動かなくなる。圏域を超えた協力体制よりも、地元での協力体制をまず作る必要がある。西脇市民病院は市民に対して、病院は宝であるという認識の植え付けを行っている。⇒スムーズな退院調整と、当院の役割をより明確化します。
- ・回復期の病院は市内にあるのか。⇒三田市内にはほとんどない。三木、宝塚、篠山、神戸市北区まで行かないと受け皿がない。
- ・先日、倉敷中央に行ってきたが、他の病院との連携が十分にできていた。地域関連ができないのであれば、関電病院のように50床の回復期を持つという選択肢もある。
- ・地域の人たちは、北から南を見ているので、なかなか当院には来てもらえない。
- ・入院平均単価が昨年度よりも4%の伸びは多いのか、少ないのか。⇒この前倉敷中央では、5%ぐらいの伸びであったと聞いている。循環器は単価が高いので、循環器抜きで計算してみたらどうか。
- ・循環器は単価下がっているのでは。⇒循環器だけでは、若干下がっています。
- ・自治体病院協議会では3%と明示されているので、標準的ではないかと。
- ・入院期間尺度で、どの疾患が全国平均以下であるかをチェックして、看護部と調整しながら伸ばしていくという案はどうか。ただし、看護補助加算を落としたいくない。
- ・各科、各疾患数に応じて、適切な入院期間が出ているので、これに合す必要があるのではないかと。
- ・EOG(ガス消毒)は時間がかかるので、オートクレーブタイプの腹腔鏡の機械が必要である。現在、外科、産婦人科、等で取り合いである。
- ・全体的に、非常に努力されているのはよくわかる。1年1年積み重ねていただくことが大切。
- ・地域の状況もよく把握されている。
- ・職員満足度調査から、看護師が離職しにくい環境を作る必要があるのではないかと。
- ・病院も人が大切なので。何か、キャリアアップの手段と、人事評価制度等の検討が必要ではないかと。看護師の離職率が13%は高く、地域的に人が得にくく来にくい地域なので、よく考える必要がある。

## 4. 閉会

今後も、皆様方からいただいた貴重なご意見を参考に、さらなる努力をしていきますので、これからもよろしくお願いたします。

以上